

(別紙 4)

愛知県における効果的な捕獲に係る技術開発評価報告  
(効果的捕獲促進事業)

1 対象指定管理鳥獣の種類及び技術名

指定管理鳥獣名	イノシシ
技術名	新型扉を用いた捕獲技術の開発

2 現状の指定管理鳥獣捕獲等事業による捕獲の状況及び課題等

渥美半島地区では、野生イノシシの根絶を目指し、令和元年度より地域全体で捕獲強化の取組を進めてきた。この取組により、野生イノシシの生息数が減少してきたことから、今後捕獲効率が大幅に低下することが想定される。このため、低密度に分布する野生イノシシの根絶に向け、効率的な捕獲方法の検討と試験的捕獲を実施する。

3 開発技術の具体的な内容等

○開発内容

- ・イノシシが興味を引くように、自発的に扉を押し開けることで捕獲ができる仕組みの罠を開発した。
- ・また、既存の囲い罠、箱罠に取り付けることが可能で一般普及しやすいものとした。
- ・加えて、従来の落とし扉ではないため捕獲失敗時の扉の落下音による警戒心の上昇を防ぐことができる、扉にある程度の重量があるためイノシシの幼獣やアライグマのような中小動物は扉を開けないといった利点がある。
- ・今回、捕獲装置 A (囲い罠に取り付け)、より容易に設置可能な捕獲装置 B (箱罠に取り付け) を開発し、捕獲検証を行った。

○評価報告

- ・捕獲装置 A の検証では、扉を押し開ける様子が確認されたが、捕獲には至らなかった。
- ・捕獲装置 B の検証では、扉付近の餌を食べる行動は確認されたが、イノシシの箱罠に対する警戒心が高く、捕獲することはできなかった。

- ・イノシシの幼獣やアライグマのような中小動物の錯誤捕獲を防止できる点は効果的であると考えられる。
- ・今回捕獲には至らなかったが、イノシシが自ら開けた障害物には警戒心を持たないといった特性行動学的な特徴に着目したワナは有用であると考えられるため、さらなる改良の必要がある。

注1：開発技術の具体的な内容については、技術の特徴、導入効果、成果目標、有効性、普及性、既存の技術との比較など分かりやすく記述すること。

注2：開発する技術の仕組み等が分かる資料を添付すること。

注3：事業終了後の評価報告においては、注1を踏まえ、その評価結果を具体的に記入すること。

#### 4 その他

注1：地域実証に当たって、特記すべき事項があれば記入すること。

注2：事業終了後の評価報告において、特記事項に対するコメントがあれば記入すること。